

「電腦商店街」

1. 指導対象

小学校高学年～高校3年生

2. 指導意図

急速に進みつつあるインターネット関連情報サービスの中で特にネットショッピングは新たな市場として急速に拡大しており、大人だけでなく子どもたちも利用するケースが目立ってきた。このためにも、信頼できるショッピングサイトを選ぶ能力を養い、トラブルの種類やトラブル発生時の対応方法について、基本的な事柄を身に付ける必要がある。ここでは、それらを体験をとおして、身に付けることをねらいとしている。

3. 指導目標

信頼のできるショッピングサイトの選び方を知る。

注文する場合の注意点を知る。

代表的なトラブルの種類と、その対応方法を知る。

4. 代表的な授業展開例

教室での一斉授業形態で実施する場合、教師側には教材提示用の端末1台と、プロジェクターを用意し、生徒側にはグループごとに1台以上の端末があることが望ましい。

(1) 一斉学習

順番に商店を選び、その体験を通して問題点を学習する。

< 導入 >

- ・ 教師のインターネットによる通販の経験を語る。
- ・ 実際にどれだけインターネット上で販売されているか検索し、閲覧させる。
(手続きはさせない。)
- ・ そのページの中で、いくつか知らない言葉を見つけたら発言させて、基本的用語については解説するか、生徒たちに調べさせる。

< 焦点化 >

- ・ まずインターネットでの通販の模擬体験をしてもらうことを告げる。
ねらいとして、信頼して大丈夫か、困ったときにどうするか、という知識がとても大切なことであるという意義を対話の中で導いておく。

< 一斉に天王星オンライン商店を開く >

- ・ 商品を自由に選ばせる。

買い物かごに入れる一連の操作を解説しながら、操作させる。

商品の購入決定の入力するデータは、数値化した学籍番号などを準備してプリントを用意して渡す。

- ・注文できたら、注文確認画面に進ませるが、記入漏れや注文ミスが無いか確認させ、ミスがあれば修正させる。

こうして、注文まで進むなかで、どのような順序で、何を確認しているページなのかをワークシートに記入させていく。これによって、基本的な購入のスタイルを習得させる。

- ・注文確認画面で「注文決定」ボタンをクリックし、その後の注文決定画面の「さあ～商品届くかな～？」ボタンをクリックして商品到着画面まで進める。
この天王星オンライン商店はトラブルが発生せず、信頼できるショッピングサイトの例として作られている。それまでで疑問をもったことなどを発言させて、次の問題のある商店の判断に関連する内容が出てくるよう関心を高めておく。
- ・次に、はじめから、「これからある商店は問題点がある商店らしいです。皆さんがページを進めていく中で、どんなところが問題なのか、わかった時点で手を上げて発表してください。」と明示して進めていく。
- ・わかりやすい水星電脳商店に進ませる。
生徒にとってはほとんど変わらないと感じているものがほとんどであると思われるので、教師は示唆しながらも、最後まで進ませる。
- ・結果として、商品が届かないことに気づき、なにがいけないのかページをもどったり、解説を見たりして原因を探す。結論として、正しく入力しても、信頼できない店もあることを知らせながら、その対処方法について説き、ワークシートにまとめさせていく。

---同様に各商店を巡っていく。

- ・最後に、各商店にあるねらいを一覧にまとめる作業をして、インターネット通販での心得を自分の意見としてまとめさせる。
- ・利点
通販の問題点への対処を順に指導徹底できる。

(2) 個別に購入する商店と商品を選ばせておき、一斉に購入手続きに入りその結果を報告しあうなかで、通販の基礎的な知識と対処方法について学ぶ(個別一斉学習)
<導入>

- ・まずインターネットで買い物をする手続きなどについて学習することを伝える。

<活動の提示>

- ・ 電脳商店街イラストマップをひらく。

いくつかの商店を閲覧し、購入したい物品を決める。

その商店が信頼できると思う規準となった表現を商品購入プリントに記入する。

- ・ ここまでしたら、先生の指示をまつ。
- ・ 商品の買いものかごへの操作から、クレジット番号入力など一連の操作の説明をする。
- ・ 実際に注文操作をして、結果をプリントに記入する。
どんな問題点があったか、そのときどうすればよいのかを解説を見たりして、記録する。
時間が余ったら、違う商店でも同じ購入操作をして記録するようにさせる。

- ・ 最後に、
インタ - ネット通販での心得や感想などを書かせる。

(3) 生徒のグループを軸として、生徒が分担調査して、各商店の問題点を比較分析する方法(グループ学習)

- ・ 健全な天王星オンライン商店を全員で操作し、購入の方法を学んだあと、グループに分かれて、各商店の問題点を比較調査分析する。
- ・ 利点
比較していく中で、欠落部分や、問題点などを絞り込むことができる。

5. 各ショッピングサイトの特徴(学習のねらい)

<水星電脳商店>

代金を受け取って、雲隠れということがある。表示項目の確認、前払い(銀行振込/郵便振替)や代金引換(郵便局/宅配便)などは信用できる店の場合にのみ利用する事や、被害にあった場合の対処方法を知る。

商品は届きません。

<金星百貨店>

表示項目の確認、前払い(銀行振込/郵便振替)や代金引換(郵便局/宅配便)などは信用できる店で利用する事や、偽ブランドなどの被害にあった場合の対処方法を知る。

届いたバッグは直ぐに壊れます。

<火星オンラインショップ>

配達中の破損や、最初から壊れている商品を買う店も考えられるので、表示項目、支払い方法、返品条件などの確認と対処方法を知る。

壊れたパソコンが届きます。

<木星商店>

注文時の入力ミスや業者のミスで、届いた数量が発注者の考えていたのと違うケースがある。注文画面のハードコピーを残しておくことや、返品についての契約内容を確認することを知る。

注文画面で、プログラムで故意に注文数量を変えて表示します。生徒がそれに気付いて修正した場合、商品到着画面では生徒にご褒美が出ます。気付かない場合、沢山の商品が届きます。

<土星ネットウォーク商店>

遅滞無く納品できない場合、メールなどでその事を連絡してくれる丁寧な業者の方が問題の発生は少ない事を知る。

業者から納期が遅れるとの通知のメールが届きます。

<天王星オンライン商店>

信頼のできる業者の選び方を知る。また、電子ショッピングの便利さを知る。

注文した商品は無事届きます。

<海王星サイバーショップ>

商品の延着に対しての対応方法を知る。

3週間たって注文してあったパソコンが届きます。

<冥王星ネット通販>

無料プレゼントなどの広告のようによそあって注文させる業者がいることを知る